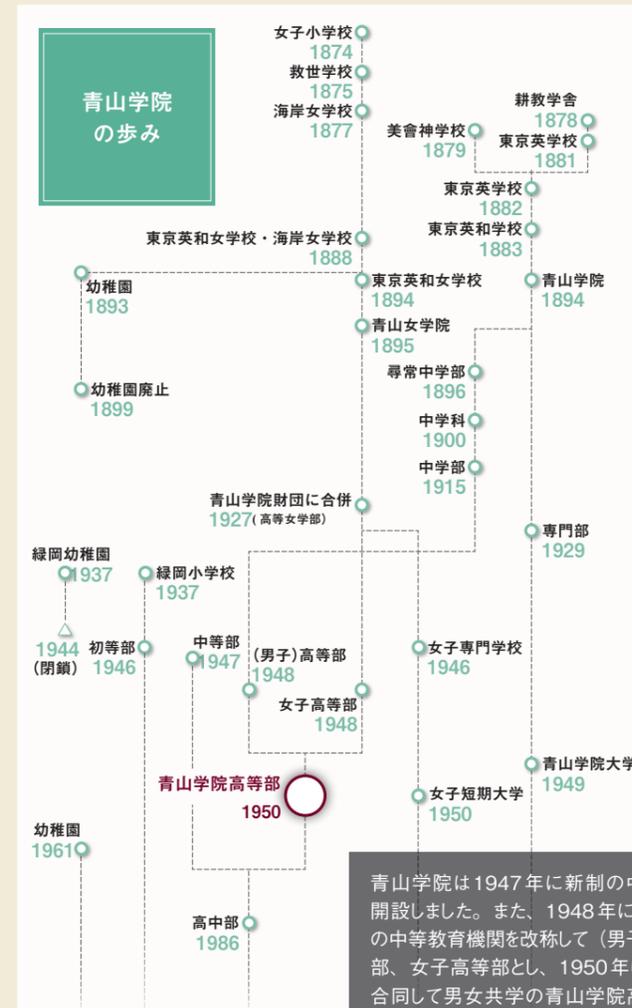




AOYAMA GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL



青山学院高等部  
SCHOOL GUIDE 2021



高等部南校舎：1952 (昭和 27) 年



高等女学部のプラット記念講堂 (旧 PS 講堂)



教場の授業風景 (高等女学部)

青山学院は1947年に新制の中等部を開設しました。また、1948年にそれまでの中等教育機関を改称して (男子) 高等部、女子高等部とし、1950年に二つを合同して男女共学の青山学院高等部を開設いたしました。その後、1986年から中等部と高等部の連携を強化するために両者を併せて高中部とも呼んでおります。

## The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクールモットー 「地の塩、世の光」 マタイによる福音書 第5章 13～16節より

### 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

### 高等部の教育目標

1. 礼拝と聖書の学びを通して、真実を求める心を培い、神や人生について深く考え、人を愛し人に奉仕する人間の育成に努める。
2. 教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力を持ち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める。
3. 学校の諸活動を通して、集団の中で自分の果たすべき役割を知り、それを実行できる人間の育成に努める。
4. 国際的な視野に立って将来の社会に責任を負うことのできる人間の育成に努める。

この教育目標のもとに、さらに各教科の教育目標ができております。



1921 (大正 10) 年頃の青山キャンパス

- 1 青山学院教育方針  
高等部の教育目標  
青山学院の歩み
- 3 目次
- 4 Rejoice Always  
いつも喜んでいなさい。  
青山学院高等部 部長 ごあいさつ
- 5 隣人とともに歩むリーダーとして  
「グローバルな視野」と「人に仕える心」  
を育む
- 7 豊かな人間形成をめざして  
特色ある教育  
7 キリスト教教育  
8 国際交流  
9「平和・共生」への取り組み  
10 大学との連携
- 11 各自の関心に応じて、深く学ぶ。  
教科学習
- 14 特色ある選択科目
- 15 思い出は自分たちの手で  
年間行事
- 17 自主性を重視し、責任ある行動を促す。  
生徒会・ホームルーム
- 19 仲間とともに、目標へ向かう。  
クラブ活動
- 21 充実した施設・設備と、  
明るく安らぎのある空間。  
校内施設
- 23 卒業生の85%が青山学院大学へ進学。  
卒業生の進路
- 25 特集 輝く先輩方からのメッセージ
- 27 入試情報
- 29 入試Q&A



# Rejoice Always いつも喜んでいなさい。

みなさん、こんにちは。青山学院高等部スクールガイドを手にとっていただき、ありがとうございます。

冒頭の“Rejoice Always”は新約聖書の言葉ですが、みなさんはいつも喜んでいますか。

青山学院高等部は、いつも喜びが溢れる学校でありたいと願っています。毎日の学習において、クラブ活動において、行事において、そして何よりも仲間や教員との関係において。それは、人との絆が深まったり、人に貢献できたりした時の喜びこそが、もっとも深い喜びの一つであると信じるからです。



青山学院高等部 部長  
**渡辺 健**

青山学院のスクールモットーは“地の塩・世の光”です。これは、イエス・キリストの教えです。「塩」は味付けに欠かせないものであり、同時に防腐剤でもあります。「光」は、闇の中で道を照らします。この言葉は、世の中によい味を付け、荒廃を防ぎ、世が闇に包まれていても希望の光を与えていく、そのような人物像を指し示しています。一人ひとりが神に愛されている存在であり、それぞれが賜物を与えられ生かされているということを知り、その賜物を生かし、人々や社会に貢献できる人間になってほしいという願いがこめられています。このモットーを基盤に、青山学院は現在、創立150周年を前にAOYAMA VISION “すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園”をビジョンとして掲げ、「自分の使命を見出して進んで人と社会に仕え、その生き方が導きとなる人、サーバント・リーダー」の育成を目指しています。

このスクールガイドをご覧になるとわかるように、この学校には普段の学びの他にも、キリスト教活動、国際交流プログラム、平和・共生プログラム、高大連携プログラム等、さまざまなプログラムが用意されています。もちろん毎日の教科学習を通じて知力を高めることも大切ですが、入学してきた皆さんには、それだけでなくぜひ自分の意志をもって、様々なことに挑戦してほしいと願っています。そしてその中で、他者の役に立つことや社会に貢献することの喜びを体験しながら、人との関わりにおいて大切なことは何か、自分の役割はどのようなものか、を学んでいってくれることを期待しています。そしてそのような学びが皆さん一人ひとりを成長させ、それぞれの賜物がこのグローバル社会で豊かに生かされることにつながっていくと信じます。

高等部に入学してくる皆さんの生活が喜びで満ち溢れることを祈っています。



青山学院フィリピン訪問プログラム

## 隣人とともに歩むリーダーとして

「グローバルな視野」と「人に仕える心」を育む

本校は2015年度から2019年度までの5年間、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」の指定を受けました。「多様性の受容を基盤とした『サーバント・マインド』を持つグローバル・リーダーの育成」をテーマに、多様なプログラムを実施し、生徒一人ひとりの「グローバルな視野」と「人に仕える心」を育んできました。

今後は、SGHの5年間の成果と、それ以前から行ってきた語学教育、国際交流、「平和・共生」学習等の様々な取り組みを土台として、生徒自身がグローバルな視野で課題を設定・解決する探究的な学習へと発展させることをめざします。



東ティモールスタディツアー



英国リースクールとの短期交換留学プログラム



イタリアのレニャーニ校との短期交換留学プログラム



東ティモールのコーヒー生産農家を訪ね、フェアトレードについて研究する東ティモールスタディツアー

## グローバルマインドを育む 多様なプログラム



青山学院大学に在籍する留学生とのコミュニケーション(英語、中国語、韓国語、ドイツ語、スペイン語)の場、チャットルーム



フィリピンの貧困地域を訪問し、本校が支援している子どもたちと交流するフィリピン訪問プログラム



各国大使館を通して来校するゲストの話聞き、国際的な知識や理解を深める大使館講義シリーズ



宮古の高校生との交流や復興支援ボランティアなど、被災地岩手県宮古市との交流



多民族国家カナダの暮らしや文化を学ぶカナダホームステイプログラム

[ Comprehensive Education ]

特色ある教育

豊かな人間形成をめざして



## キリスト教教育 真実を求める心を培い、神や人生について深く考える力を育てる。

Christianity-based Education

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられたこの学校の教育の根幹を成すものです。生徒たちがキリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、社会に貢献する若者として巣立ってくれることを願っています。

### 毎日の礼拝

全校生徒と教職員がともに講堂に集い、聖書の御言葉（みことば）を通して自らを振り返る毎日の礼拝は、この学校が最も大切にしている時間です。

週一回、各クラスで行われるホームルーム礼拝では、生徒が司会、話、演奏等を担当します。



▲全校礼拝

### 週一回の聖書の授業

青山学院の教育の土台は聖書の御言葉です。その御言葉を学ぶ時間が、「聖書」の授業です。この授業では、その聖書を手に取り、自分自身について、また隣人について考え、神とわたしたちとの生きた関係について学びます。



▲ホームルーム礼拝

### キリスト教に触れるさまざまな行事

夏休みのグリーンキャンプ、冬休みのホワイトキャンプは、大自然の中で仲間との親睦を深め、聖書を学び、神様や人生について考える機会です。また、クリスマスやイースター、特別礼拝などを通して、キリスト教に深く触れていきます。



▲グリーンキャンプ（高等部追分寮にて）



## 国際交流

International Exchange

国や文化の違いを超えて、他者を理解することのできる人間を育てる。

本校の国際交流が目指すものは、「価値観の多様性（diversity）の共有」です。これは、世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いを認め合い、共に生きるというイエスキリストの教えに根ざしたものです。本校はその思想を实践し、グローバル化の時代に対応できる人間の育成に励んでいます。

### 学校間交流

英国の名門パブリックスクールであるリーススクール、ルネサンスの文化を色濃く残すイタリア・ミラノ郊外のサロンノ市にあるレニャーニ校との間で、それぞれ数名の生徒による短期交換留学を実施しています。



▲イタリア・レニャーニ校との交換留学

### カナダ・ホームステイ

夏休みに2週間、約30名でトロント市近郊のベリー市を訪れます。地域の施設（老人ホーム・YMCA等）の訪問、チャリティー活動、ナイアガラの滝見学、大リーグ観戦、カヌー体験など様々なイベントが用意され、異文化や大自然を体感できるだけでなく、英語力を試す格好の機会となっています。



▲カナダホームステイ

### 長期海外留学

各種留学斡旋機関を通して1年間の留学をする生徒が年間15～20名程度、各学年にわたって存在します。帰国後に同じ学年に復学する第一種留学と、年下の学年に復学する第二種留学の制度があります。

### 帰国生教育

本校は1970年代から、毎年一定数の帰国生を受け入れてきました。帰国生は普通のクラスに入り、異文化の体験者として周囲に影響を与えます。一方、帰国生が円滑に学校生活に順応できるよう、国際交流委員会の教員が「アドバイザー」となって、学校生活や学習の問題の相談に個別に応じる体制を整えています。

### 長期留学生受け入れ

毎年数名の海外からの長期留学生を引き受けています。留学生はホームルームに所属してクラスメイトと共に授業に出席し、学校行事に参加するなかで、国際理解の重要な役割を担っています。



▲多くの生徒が参加したインターナショナル・スウィーツフェスティバル



## 「平和・共生」への取り組み

An Emphasis on Peaceful Coexistence

人を愛し人に奉仕し、世界の平和に貢献できる人間を育てる。

「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に捉え、大きな学びとすることを期待して、「平和」や「共生」をテーマとしたさまざまなプログラムを実施しています。

### ■ 修学旅行を中心とした平和学習と研究論文の執筆

本校の修学旅行は、2年生の11月に九州を訪れます。熊本城、阿蘇山、軍艦島、九十九島めぐりなど各クラスで決めた見学地を訪れ、歴史や自然を学びます。長崎では原爆資料館を見学し、被爆者の方々の体験談を直接伺って、平和について深く考える機会をもちます。さらに、修学旅行の事前・事後学習の域を越えて、3年間かけて様々な教科の中で「平和・共生」



▲被爆者のお話を聞く

学習を実施しています。2年次から3年次にかけては、生徒一人ひとりが「平和・共生」に関連するテーマを定めて研究論文を執筆することで、学びの集大成とします。

### ■ 青山学院フィリピン訪問プログラム

フィリピン訪問プログラムは、青山学院の初等部から大学までの共同プログラムで、高等部からは、毎年希望生徒数名が参加します。CFJ（チャイルド・ファンド・ジャパン）の協力のもと、支援先の子



▲フィリピン訪問

どもたちを訪ねてその生活に触れ、あたたかい交流をもつことによって、世界が抱える貧困の問題について知識だけでなく心の繋がりをもち理解することを目的としています。

### ■ 岩手県宮古市の高校との交流

被災地宮古の皆さんへの「復興への励まし」につながることで、また本校の生徒たちが「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に学ぶことを期待して始めた宮古の高校との交流も、10年目を迎えました。これまでに運動部の親善試合、文化祭でのチャリティグッズ販売、本校生徒会執行部の先方の学校訪問など、交流を重ねています。



▲宮古市訪問

### ■ 東ティモールスタディツアー

生徒自主学习団体BLUE PECOがフェアトレードを通して支援している東ティモールのコーヒー生産農家を訪問し、その生活に密着するフィールドワークを行います。グローバルな経済格差の問題とフェア



▲東ティモールスタディツアー

トレードのあり方について研究し、貧困地域の諸課題を地域の人々とともに解決していく手法や資質を養います。



▲国際政治学科の学生がつかむ国際社会：キューバ危機とシリア内戦を素材として（2019年度 国際政治経済学部国際政治学科講座）

### ■ 学問入門講座

本校では、土曜日の午前中に「学問入門講座」を実施しています。青山学院の大学・専門職大学院の教員が、それぞれの専門分野について高校生にわかりやすく講義するもので、大学の教室を使って、年10回、各回平均3講座、年間で約30講座程度が開講されます。生徒は自分の関心のある講座を自由に選び、2時間の充実した学びの時間を過ごします。大学での学問研究の面白さ、奥深さに触れることができ、卒業後の進路選択にも役立つという感想が多く聞かれます。



▲中世日本の宗教美術における「オリジナル」と「コピー」をめぐって（2019年度文学部比較芸術学科講座）

▲人に役立つ情報システムのつくりかた（2019年度社会情報学部講座）

### ■ 3年生による大学授業の履修

2015年4月より、3年生の希望者が放課後に青山キャンパスの大学の授業を履修して、内部進学した際にその単位が認められるという制度を開始しました。大学生と一緒に授業を受けることは、高等部生にとって、現在実施されている「学問入門講座」とはまた違った意味で、知的探究心の向上につながると期待しています。

### ■ 国際理解・留学準備プログラム

早い時期から海外への関心を高めてグローバル感覚を養うことを目的として、大学国際交流センターと共催で以下の3つの特別講座を設けています。

- 海外体験の魅力やグローバル化への対応等の講義を含む「総合オリエンテーション」
- 海外留学の際に必要なとされる英語検定「IELTS（アイエルツ）」の対策講座
- 大使館担当者が、自国文化の紹介や日本との繋がりなどを英語で講義する「大使館講義シリーズ」



▲大使館講義（フィリピン）の様子

## 大学との連携

University Connections

総合的判断力、洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力を育てる。

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、大学との連携を深め、一貫教育のさらなる良き実りを得ることをめざします。

### 2020年度 学問入門講座テーマ

学部	学科	講義テーマ
文学部	英文文	● 普段意識していないことばのルールを意識してみよう！
	フランス文	● 日常言語の中に潜む論理について
	日本文	● 人形浄瑠璃における日本と外国の表象
	史学	● 中国の宋代について
	比較芸術	● 演劇の面白さはどこから生まれてくるのか
教育人間科学部	教育	● 特別支援教育—インクルーシブ教育への展開—
経済学部	経済	● 統計データ分析手法を用いて日本の景気循環を眺めてみよう
	現代経済デザイン	● 経済学とエビデンス
法学部		● グローバルな法の仕組 —法律と裁判は国境を越えて旅をする—
		● 法は「正義」の味方なの？—あなたは、法を味方にできる？—
経営学部		● ハンバーガーで考える企業の戦略と組織： 100円のハンバーガーは儲かるのか？
		● 会計学入門 —会計制度を知り、会社の決算書を見てみよう—
国際政治経済学部	国際政治	● 核兵器を裁判する
	国際経済	● 国際経済と金融政策
	国際コミュニケーション	● 日本人が世界を発見する ～ロシア文学を中心に～
総合文化政策学部		● 現代の生活文化として学ぶ都市建築領域の基礎
		● 生命とは何か？ —動的平衡の視点から—
		● カナダ研究と私—音楽×文学×メディア
理工学部	化学・生命科	● レアアースと化学と私たちの生活
	機械創造工	● 最先端技術における熱科学 —医療から宇宙まで—
	情報テクノロジー	● 数学と物理とプログラムで映像を作るコンピューターグラフィックスの世界
社会情報学部		● 人に役立つ情報システムのつくりかた
		● 私たちは社会をつくり、社会の中で生きている—人間の社会性を科学的に理解しよう
		● 社会をくモデル>で見る～社会学入門～
地球社会共生学部		● 「日本という場所に住む覚悟はありますか？」
コミュニティ人間科学部		● 国際舞台で活躍するビジネスと人材
		● ヒトはモノを正しく見ていない！？ —認知心理学入門—
法務研究科		● 「スポーツ×地域活性化」の未来 —スポーツとまちづくりのいい関係—
国際マネジメント研究科		● 法律家による社会へのアプローチ —同性婚とLGBT支援を題材に—
国際マネジメント研究科		● 青山学 —青山から考える地域活性化のマーケティング
会計プロフェッション研究科		● 会計って何だ？ なぜ会計は必要なのか？ 会計に関する職業とは？
キリスト教関連科目		● メソジスト教育運動と青山学院の教育方針

[ Educational System ]

教科学習

各自の関心に応じて、深く学ぶ。

教育課程

本校は授業週5日制を実施しており、1日6時間で50分単位の授業を行っています。「教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める」という目標により、カリキュラムが作成されています。

2年次からは文・理の選択科目が置かれ、3年次ではカリキュラムの半分を選択科目が占めます。各自の関心のある科目をより深く学習できるようになっており、青山学院大学への内部進学はもちろんのこと、多様な進路選択にも対応できるものとなっています。また、必修の英語ではホームルームを習熟度別のクラスに分割し、学習効果を高めています。

土曜日には総合的な探究の時間の一環として、青山学院の大学・専門職大学院の先生方による《学問入門講座》(▶10ページ)を開講し、進学指導にも役立っています。

学年	1年	2年	3年
1 聖書 ▶12ページ	聖書 (1)	聖書 (1)	聖書 (1)
2		現代文B (2)	現代文B (3)
3 国語 ▶12ページ	国語総合 (4)	日本史A (2)	
4		現代社会 (2)	政治・経済 (3)
5 地歴公民 ▶12ページ	世界史A (2)		
6			3単位選択科目(注3)から3科目を選択(9)
7 数学 ▶12ページ	数学I (3)	数学II (5)	
8			
9	数学A (2)		
10			
11			
12			
13 理科 ▶12ページ	生物基礎 (2)	物理基礎 (2)	
14			
15			
16 保健体育 ▶13ページ	体育 (2)	体育 (3)	
17			体育 (2)
18			
19 芸術 ▶13ページ	音楽I(2)、美術I(2)、書道I(2)、 工芸I(2)から1科目を選択	コミュニケーション 英語II (3)	コミュニケーション 英語III (3)
20			
21			
22 外国語 ▶13ページ	コミュニケーション 英語I (3)	英語表現II (2)	英語表現II (2)
23		古典B 又は 化学基礎 (3) (注1)	
24			
25			
26 家庭 ▶13ページ	家庭基礎 (2)	2単位選択科目(注2) から2科目を選択 (4)	2単位選択科目(注4) から3科目を選択 (6)
27			
28 情報 ▶13ページ	社会と情報 (2)		
29			
30			
31	総合的な探究の時間 ホームルーム		

- (注1) 理科の必修科目に関しては、2年次までに3科目を履修するものとする。  
化学基礎を履修しなかった場合は地学基礎を履修するものとする。
- (注2) 標準古典、地理A、数学B、数学I・A演習、物理I、地学基礎、音楽I・II、美術I・II、オーラル・コミュニケーションA、リテラチャー、英語演習A
- (注3) 古典B、日本史B、世界史B、地理B、数学III(a)、物理、化学、生物、選択音楽、選択美術、上級英語 ▶14ページ
- (注4) 聖書特講、国語表現 ▶14ページ、漢文、文学史、国語特講、地理特講、世界史特講A・B、現代史特講、日本史特講A・B、現代社会特講 A・B ▶14ページ、数学III(β)、数学演習A・B、数学基礎演習、数学特講、物理I、化学I、生物総合 ▶14ページ、地学、環境科学、体育特講A・B、球技A・B、音楽II・III、美術立体、美術平面、書道I・II、工芸I・II、オーラル・コミュニケーションB、メディア・イングリッシュ、リスニング・コンプリヘンション ▶14ページ、英語演習B、英語特講、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語、被服基礎、食物基礎、ICT活用探究実践

※一部変わる場合があります



聖書

Biblical Studies



青山学院の心を学ぶ。

聖書の授業は、一教科の学びとして位置づけられていますが、学問的な領域にとどまらず、「地の塩、世の光」の表す人間形成を目指し、この時代を生きていくことについて聖書から学びます。青山学院の学びの土台となる授業です。

国語

Japanese Language And Literature



言葉を正しく理解し、自分を表現する力を養う。

国語科の目標は「読解力を養い、表現力を身につける」ことにあります。高等部では近・現代の文学に加えて古典にも重点をおき、生徒一人ひとりの日本文化総体に対する関心が深まることを最終的な目標としています。

地歴・公民

Social Studies



身近なことから世界を広げる。

①現代の複雑な世界が形成されてきた過程をさぐる歴史、②地域的・空間的視野から自然や社会をとらえる地理、③政治・経済などの社会的構造から物事をとらえる公民、という三つの大きな視野から社会現象を見ていきます。また、選択科目の特講では、グループ学習、レポート、討論、発表などを通じて、自ら調べて考えるなかで、主体的な学習能力、課題に対する分析力、論理的思考能力、表現力など、これからの社会を担う力を育てることを目標とします。

数学

Mathematics



数学は文化である。

数学は、先人たちが長い時間と多大な労力を費やして発展させてきたものです。このような“文化”としての数学を学ぶことを念頭におきながら、現代文明に必要な不可欠な数学的素養を培います。2年生では、少人数制の習熟度別演習の時間を設けています。授業を通して数学の基本的な技術を習得することにより、柔軟な論理的思考や創造性が生まれます。そして身につけた知識を駆使し、自ら問題解決ができる能力を育みます。

理科

Sciences



冷静な分析と総合的な判断。

環境問題をはじめ現代社会は多くの問題をかかえています。その責任が科学にあるように言われることもあります。はたしてそうでしょうか。冷静に問題を分析し、誰にでもわかる言葉で解決の道筋を模索することが問われているのではないのでしょうか。理科において一番大切なことは自然から学ぶことです。そのため実験や観察を重視し、できる限り多くの時間を割くようにしています。



## 外国語

Foreign Languages

「英語の青山」の名にふさわしい良き伝統。

英語を学ぶことを通して、普遍的なものを追い求める心を養い、広く世界全体に目を向けて、国や文化の違いを超えて社会に貢献できる人を育てることを目指します。必修授業では習熟度別に授業を行い、各生徒が自分のレベルに合ったスピードで英語を学習できるように配慮しています。選択の授業では、英語を道具として使い映像作品を製作して発表する発信型の授業、長文読解や文法演習を行う授業、CNNやNews websiteを扱う授業など、生徒のニーズに合わせた幅広い種類の授業を用意しています。

また、第二外国語として、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語を選択することもできます。



英語表現 I



リテラチャー (2年選択科目)



オーラル・コミュニケーション A (2年選択科目)

## 保健体育

Health And Physical Education



心身ともに強く成長することを願って。

生涯体育を実践する基礎を培う高校時代。青年期に必要な運動量を確保し、自分たちで創意・工夫、協力して運動が行える種目を指導しています。保健では身近な事柄を教材にとりあげ、実践的な健康・安全管理ができることを学習の中心目標としています。

## 家庭科

Home Economics



生活全般を実践的に学ぶ。

家庭科では、人間が生きていくために欠かせない、生活の基本的な知識および技術を学ぶだけでなく、現在の家庭を取り巻く諸問題にも目を向けさせます。そして、自立した生活者としての意識を高め、自分はどういう生活・人生を送りたいのかを考える機会を与え、自分の生活・人生をデザインする力を身につけることを目指します。

## 芸術

Art



心を豊かに。

音楽では、①知識を増やし・感性を磨き・技術を高める事によって、より「美しい音」を知り・感じ・表現する事、②そして、誠実にかつ真摯に音楽に向きあい取り組んでいく心と身体の姿勢を学びます。美術では、さまざまな素材に触れ、感性や創造性を養い、個人の能力を高めるとともに、幅広い表現力を養います。また、美術やデザインを発する最先端の環境を生かして、美術館やギャラリーなどを見学します。

## 情報

Information And Communication Technology



欲張りに探究する心、的確に判断する力を。

次の3本柱を中心に、その知識と技術を身につけることを目標にしています。

- I. 情報処理の大切さと注意すべき点を心得る
- II. 情報処理の道具として、ハードウェアの仕組み、ソフトウェアの使い方を習得する
- III. IおよびIIを踏まえながら、1つのテーマに関する問題解決や探究学習を実践する

## 特色ある選択科目

ELECTIVE SUBJECTS

## 上級英語

英語で考える「世界の現状」

今日世界が抱える問題（戦争、差別、貧困など）について学んでいます。これらの問題が互いにどのように結びつき、その背後にどのような原因があるのかを考えます。その過程において、生徒は各テーマに関連した約400の表現を学び、それらとつながりの深い言葉を自ら考えます。その上で話し合い、発表へと展開させていきます。高等部の中でもっともチャレンジングな授業のひとつです。ネイティブ教員が担当。



## リスニング・コンプリヘンション

「生きた英語」を身につける

スピーチ、ニュース、ヒットソング、映画などのディクテーションを通して、文法、語法、発音、英語の正しい発話の仕方などを体系的に学んでいく授業です。歴史上の名スピーチを聴き取って暗唱し、それを講堂の舞台上で発表してみたり、集大成のグループプロジェクトとして、映画のアフレコ制作に取り組んだりしています。アフレコでは班ごとに映画の台詞を聴き取って台本を起し、映像に合わせて皆が役を演じながら、自然と生きた英語を身につけていきます。



## 国語表現

「書く」ことで表現力・思考力を磨く

基本的な技術や表現の工夫を確認しながら、さまざまに考えたことを文章にします。互いの文章への批評や、ディベート形式の議論、グループ発表等も行い、意見や主張を理解し合う経験を重ねています。

論理的文章だけでなく、自由な発想で「書く」ことを楽しむ課題もあり、表現力・論理的思考力をバランスよく身につけることを目指しています。年度末には編集委員をたてて記念文集を作成しています。



## 現代社会特講B(国際社会と日本)

「日本のあるべき姿」についてディベートする

今日の、そしてこれからの日本は国際社会においてどのような役割を果たしていくべきか—というテーマで、調べ学習や討論を通じて自分自身の考えを確立していくことを目標にしています。具体的には、「憲法第9条を改正すべきか」、「集団的自衛権の行使容認をどう考えるか」、「日本は過去の戦争とどう向き合うべきか」などの議題を設定して、グループごとに話し合い、資料を集め、作戦を練った上で、ディベートを行います。また、論理的・分析的なレポートの書き方も学びます。



## 生物総合

「実物」に触れて学ぶ

生物総合では「実物を見る」ことを大事にして生物学の中でも系統分類と進化の分野について学びます。年間を通してほぼ毎週、解剖・観察や実験などを行っており、グループワークなども取り入れて生徒が主体的に学ぶ工夫をしています。

解剖や観察では様々な生物（ヒドラ、プラナリア、ハマグリ、イカ、エビ、カニ、アジ、マウス、植物など）の形態や特徴を知ることにより生物同士が系統的にどのような関係にあるのか学んだり、環境にどのように適してきたのかを予想したりすることができます。また、国立科学博物館見学など校外での実習も行っています。



Apr. 4

- 入学式
- 新入生歓迎会
- クラブ紹介
- イースター礼拝
- 定期健康診断

May 5

- ホームルームデー
- 3年進学指導会

Jun. 6

- バレーボール大会
- 伝道週間
- 生徒集会 (ミュージック フェスティバル)
- グローバル・ウィーク I

Jul. 7

- 夏期行事
- グリーンキャンプ
- クラブ合宿・強化練習
- カナダホームステイ
- 生徒会サマーキャンプ

Aug. 8

- 夏期行事
- クラブ合宿・強化練習

Sep. 9

- 文化祭
- レンジャー二校生徒訪問
- 2年進学指導会

Oct. 10

- グローバル・ウィーク II
- 伝道週間
- リースクール生徒訪問

Nov. 11

- 2年修学旅行
- 青山学院創立記念日
- 2年女子ダンス発表会
- クリスマスツリー点火祭

Dec. 12

- クリスマス礼拝
- スキー教室

Jan. 1

- 推薦入試
- 帰国生入試
- 2年男子陸上大会

Feb. 2

- 一般入試

Mar. 3

- 卒業礼拝
- 送別会
- 卒業式
- スキー教室
- クラブ合宿

思い出は自分たちの手で



入学式



バレーボール大会



ホームルームデー

1、2年生を対象に、毎年5月の初旬にホームルームデー（クラス単位で行く日帰り旅行）を行っています。各クラスで自分たちの行きたい場所を独自に選び、企画運営し、親睦を深めています。



バレーボール大会

2年修学旅行

2年生の11月に、各自研究テーマを持って九州を訪れます。原爆資料館、軍艦島、九十九島めぐり、阿蘇山などさまざまな見学地が盛り込まれ、行く先々で歴史、自然、文学、生活、産業、地理などを学び、平和について考えます。



2年女子ダンス発表会



2年男子陸上大会



文化祭

高等部の文化祭は、毎年秋に開催されます。一般公開の2日間は各参加団体が1人でも多くのお客様に楽しんでいただこうと競い合います。



スキー教室



クリスマス礼拝



卒業式

7:30 開門

8:15 ▶ 9:05 1 時限

9:15 ▶ 10:05 2 時限

10:15 ▶ 10:35 礼拝

10:40 ▶ 11:30 3 時限

11:40 ▶ 12:30 4 時限

12:30 12:30 ▶ 13:20 昼休み

13:20 ▶ 13:30 HR

(木曜日 13:20 ▶ 14:10) 13:40 ▶ 14:30 5 時限

(木曜日 14:20 ▶ 15:10) 14:40 ▶ 15:30 6 時限

(木曜日のみ) 総合的な学習の時間 15:20 ▶ 16:00 7 時限

18:00 終鈴

年間行事  
School Calendar

School Life

高等部の一日



登校



授業



礼拝



昼休み



[ Student Council And Homeroom ]

生徒会・ホームルーム

自主性を重視し、責任ある行動を促す。



生徒会組織と  
生徒会主催の  
学校行事



◀生徒会三者協議会

生徒会会長と副会長、各委員会の長で構成される三者協議会は、生徒会の中心となって活動しています。バレーボール大会など生徒会主催行事の企画から運営に至るすべてを担当するほか、より良い学校生活を送るための議論やルール作りにも積極的に取り組んでいます。



◀文化祭

文化祭は、選挙で選ばれた本部役員を中心に組織された「文化祭実行委員会」により企画・実施されます。文化祭期間の2日間、全校生徒は各ホームルーム、有志団体、クラブなどさまざまな場で、個性溢れる企画や日頃の努力の成果を披露します。



◀バレーボール大会

学年別クラス対抗で行われるバレーボール大会は、生徒会役員を中心に、各ホームルームから選ばれた運営委員の手により運営されています。昼休みには、ほぼ年間を通してバレーの練習に打ち込む姿が見受けられるほど、全校生徒が熱くなる行事です。



◀ミュージックフェスティバル

毎年6月には、生徒会の集會委員会が企画・運営するミュージックフェスティバルが行われます。バンドを中心にダンス、その他パフォーマンスなど、激戦のオーディションを勝ち抜いた団体が熱演を繰り広げます。



◀生徒会主催サマーキャンプ

夏休みに高等部追分寮にて行われる生徒会主催サマーキャンプには、生徒会役員だけでなく一般生徒も参加して、学年や立場の垣根を越えて学校のあり方についてディスカッションをし、バーベキューや花火大会などのアクティビティで親睦を深めます。

生徒会は、自由な校風と言われる本校の自主的な活動の要を担っています。6月のバレーボール大会、9月の文化祭を柱とし、他にも新入生歓迎会や送別会、ミュージックフェスティバル、夏休み中の宿泊をともなったキャンプなど、さまざまな行事を企画・運営しています。

また、生徒の学校生活に関する要望を常時受け付け、学校の規則について全校生徒を巻き込んで議論し、ときにはそれを変える運動も展開してきました。他校との交流や、ボランティア活動なども活発に行っています。

クラスの仲がよく、行事が盛り上がるのは本校の特徴です。クラス対抗のバレーボール大会や文化祭では、皆の熱意と行動力が結集します。また、ホームルームデー（遠足）の行き先や修学旅行のコースなどは、生徒の代表を中心に各クラスが話し合って企画します。

このように、生徒の自主性を重んじる生徒会やホームルーム活動を通じて、一人ひとりの責任ある行動力が養われています。

真の自由とは…  
「生活心得」に託された思い

青山学院高等部の生徒手帳には、学校が生徒に対して課す“校則”ではなく、教師と生徒の合議によって作りあげた“生活心得”が記載されています。“心得”の冒頭の「全員で努力していきたい」という言葉には、自由な校風を大切に、自主性と責任感を養ってほしいという想いが表れています。

生徒数

(2020年4月現在)

	ホーム ルーム数	男子	女子	計
第1学年	10	197	222	419
第2学年	10	202	219	421
第3学年	10	192	218	410
総計	30	591	659	1250

服装  
SCHOOL UNIFORM



男子

- 男子冬期は濃紺のブレザーとズボン。ワイシャツ等は白または薄い単色。
- ネクタイは色・柄自由。
- 夏期は濃紺のスポンに白ワイシャツ・白ポロシャツ等。
- 略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。

女子

- 女子冬期は濃紺のブレザーで、スカートはひだつきの織維製品で色は自由、もしくは所定のズボン。ブラウスは白または薄い単色。靴下は白または紺。
- 夏期はひだつき濃紺無地のスカートもしくは所定のズボンとブラウス・白ポロシャツ等。靴下は白または紺。
- 略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。



[ Educational Facilities ]

校内施設

充実した施設・設備と、明るく安らぎのある空間。



2008年に始まった校舎建築。2014年夏に体育館、中庭、カフェテリアが完成し、すべての工事が完了しました。古き良き伝統を受け継ぎながらも、時代の要請に沿って機能性、安全性の高い快適な環境づくりを進め、未来の教育の場にふさわしい校舎が誕生しました。

明るい校舎と充実した施設・設備により学習環境が向上し、広々とした空間でクラブ活動もより一層のびのびと行えるようになりました。噴水のあるウッドデッキの中庭や、大きな藤棚に面したカフェテリアは、生徒たちの憩いの場となっています。



柔道場



トレーニングルーム



メインアリーナ



図書館



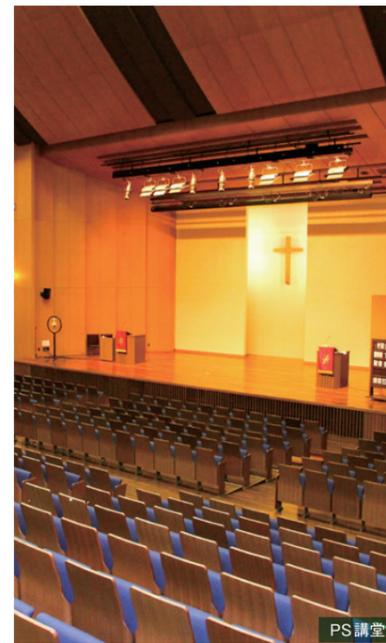
相談室



PC実習室



和室



PS講堂



校外施設 ● 高等部 追分寮

西校舎

- ホームルーム教室
- 特別教室
  - 生物A・B
  - 調理
  - 被服
  - 書道
- 大教室
- 小教室
- 集会室
- 多用室
- 生徒会室
- 放送室
- 保健室
- 相談室

体育館

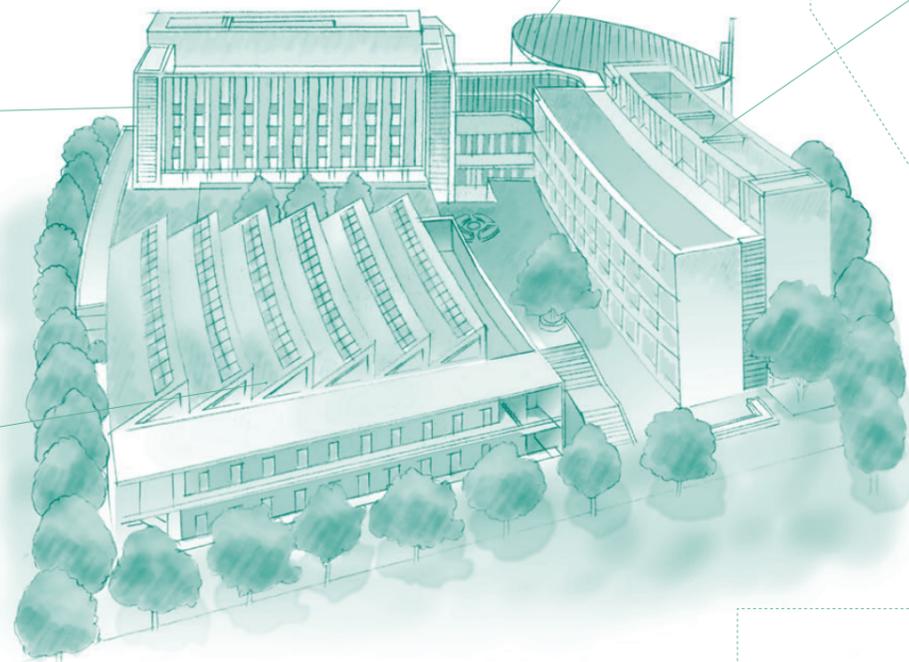
- メインアリーナ
- サブアリーナ
- プレイルーム
- 柔道場
- 保健実習室
- トレーニングルーム
- 更衣室
- 部室

PS講堂

- 講堂
- オルガン練習室
- 図書館
- PC実習室A・B

北校舎

- ホームルーム教室
- 特別教室
  - CALL教室A・B
  - 物理A・B
  - 化学A・B
  - 地学
  - 音楽
  - 美術
  - 工芸
  - 彫刻陶芸
- 音楽練習室
- 器楽練習室A・B・C
- 小教室A・B・C
- 多用室A・B
- 和室
- 進路資料室



カフェテリア  
グラウンド  
テニスコート



グラウンド



カフェテリア



[ Post Graduation ]  
卒業生の進路

卒業生の85%が青山学院大学へ進学。



学院組織進路チャート

高等部



卒業生の進路

青山学院大学への進学

青山学院大学	2020年	2019年	2018年
文学部			
英米文学科	19	22	19
フランス文学科	1	4	2
日本文学科	5	3	2
史学科	3	2	2
比較芸術学科	16	10	12
教育人間科学部			
教育学科	15	25	25
心理学科	13	13	11
経済学部			
経済学科	25	20	22
現代経済デザイン学科	6	8	10
法学部			
法学科	20	18	5
経営学部			
経営学科	53	53	50
マーケティング学科	32	32	32
国際政治経済学部			
国際政治学科	23	23	23
国際経済学科	23	23	23
国際コミュニケーション学科	14	14	14
総合文化政策学部			
総合文化政策学科	47	47	47
理工学部			
物理・数理学科	0	1	1
化学・生命科学科	2	3	2
電気電子工学科	1	1	0
機械創造工学科	4	1	1
経営システム工学科	3	1	6
情報テクノロジー学科	3	3	7
社会情報学部			
社会情報学科	11	9	3
地球社会共生学部			
地球社会共生学科	3	5	0
コミュニティ人間科学部			
コミュニティ人間科学科	0	0	—
計	342	341	319
外部大学・その他	54	67	86
卒業生総数	396	408	405

他大学合格者

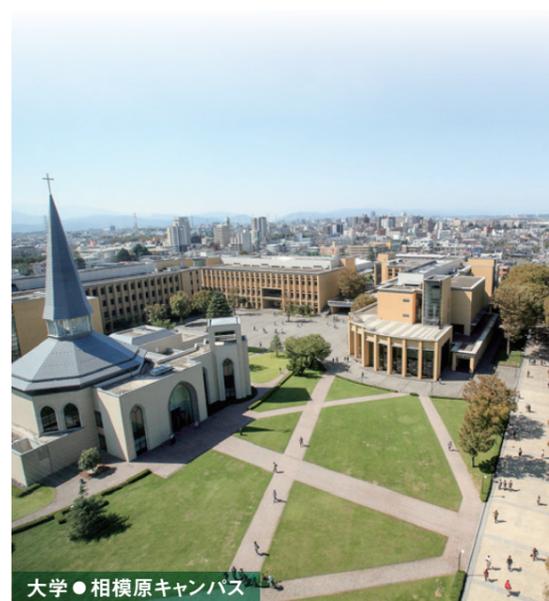
(2020年4月現在)  
(国公立50首順 過年度卒業生を含む)

学校名	2020年	2019年	2018年
国公立大学			
大阪大学	0	1	1
国際教養大学	1	0	0
電気通信大学	0	1	1
東京海洋大学	0	1	1
東京外国語大学	1	1	0
東京大学	0	1	2
東京藝術大学	1	0	2
東北大学	0	1	0
一橋大学	0	0	1
弘前大学	1	0	0
広島大学	0	1	1
防衛医科大学校	0	1	0
その他の国公立大学	0	1	10
私立大学			
金沢医科大学	1	1	0
北里大学	1	2	3
慶應義塾大学	7	17	20
国際医療福祉大学	1	0	2
国際基督教大学	2	3	0
芝浦工業大学	0	5	2
上智大学	7	10	15
昭和薬科大学	1	1	2
聖マリアンナ医科大学	4	6	4
多摩美術大学	2	1	0
中央大学	3	2	8
東京医科大学	2	0	4
東京音楽大学	1	1	0
東京歯科大学	1	3	1
東京女子医科大学	2	0	1
東京薬科大学	0	1	1
東京理科大学	7	10	11
同志社大学	1	0	2
東邦大学	1	2	1
獨協医科大学	1	0	0
日本歯科大学	1	1	3
日本獣医生命科学大学	1	0	0
星薬科大学	0	2	2
武蔵野美術大学	1	1	0
明治大学	4	5	7
立教大学	3	4	7
早稲田大学	6	10	14
その他の私立大学	29	55	54
外国の大学・留学	1	2	5

高等部を卒業する生徒の約85%は、青山学院大学へ進学しています。その他専攻分野などの関係で他の大学を受験する生徒が約15%あります。内部進学は、高等部3年間の学業成績、3年次に行われる2回の学力テストの結果その他を総合的に判断して推薦が行われ、大学側の決定を経て、入学が認められています。



大学 ● 青山キャンパス



大学 ● 相模原キャンパス

[ Message ]  
特集

輝く先輩方からのメッセージ

M E S S A G E S F R O M G R A D U A T E S

皆さんそれぞれの「花」を、このキャンパスで咲かせて下さい！



**プロフィール**  
向山恵理子 1999年卒。青山学院大学文学部教育学科卒業。アフリカの音楽に魅了され、単身ケニア奥地の村で修業を積み、ルオー民族の伝統弦楽器「ニャティティ」の世界初の女性奏者となる。日本ケニア文化親善大使。日本国内だけではなく、アフリカ、ヨーロッパなどでも広く演奏活動を行っている。

ニャティティ奏者

## アニャンゴさん

ケニア共和国ルオー民族の伝統楽器「ニャティティ」をアニャンゴ（午前中に生まれた女の子の意）の名で演奏しています。ハーブの原形とも云われるニャティティは、現地の選ばれた男性にしか演奏が許されない楽器。大学卒業後、初めて聴いたニャティティに魅了されてケニアに渡り、電気も水道もない奥地の村で2ヶ月生活するうちに、師匠に認められ、教えてもらうことができました。

私の原形は高校時代にあったように思います。青山学院高等部は自由で開かれた校風で、国際色も豊か。私の2つ上の学年には Dragon Ash の降谷建志さんがいらっしやり、ほかにもプロのお笑いを目指すグループ、歌舞伎をやっている先輩などがいました。私自身も当時すでに音楽を楽しんでおり、4つ〜5つのバンドを主催して、お昼休みに中庭でゲリラライブなどをしていました。音楽のプロを目指したいと思ったのも高校時代。音楽修業のために海外へ飛び出そうと思えたのも、周りに帰国子女の生徒や、国連で働く夢を持った友人など、世界を舞台に考えている人が多かったからかもしれません。

先生方は生徒を一人の人間として認め、必要以上の深入りはせず、優しく生徒たちを見守ってくれました。個性を潰さず、「やりたい」という気持ちを否定しない懐の深さ。皆さんが主体的に動くならば、勉強でも芸術でも、先生方は後押しをしてくれるはずですよ。

日本ケニア文化親善大使として学校公演もしています。ソーラン節とニャティティを融合したニャティティソーランをつくり、札幌 YOSAKOI ソーラン祭りで踊ったこともあります。2009年には「Newsweek Japan」で「世界が尊敬する日本人100人」に選んでいただきました。日本とアフリカの架け橋として、これからも文化を通じた国際交流を進めていければと思います。

さまざまな個性を認め、伸ばしてくれる青山学院高等部。この恵まれた環境で、長い人生の中で最も重要といえる3年間を過ごし、皆さんそれぞれの「花」を咲かせてください。

ゆとりある高校生活で、自分の世界を広げてください。



**プロフィール**  
2005年卒。青山学院大学法学部卒業。青山学院大学法務研究科（法科大学院）修了。2013年に司法試験に合格し、2015年1月弁護士登録（第二東京弁護士会）。現在、現松田山崎法律事務所所属。主に学校法務、IT関連法務、企業間取引、労働法務、少年事件を中心に手掛ける。

弁護士

## 吉川 武志さん

青山学院高等部の推薦入試が始まった年に入学した、推薦入試の一期生です。毎朝5時に起床し、片道二時間かけて通学するのは大変でしたが、そこで私は得難い経験をする事ができました。

高等部には青山学院大学への内部進学制度があり、皆が大学受験をする必要がないので、高校生活に少し余裕があります。友達の影響で映画や音楽に興味を持ったのもこの頃です。学校から徒歩圏内に多くの映画館やCD・レコード店があったのは大きかったですね。映画や音楽、読書等で様々な文化に触れる機会があったことは、世界を広げてくれました。

高等部には聖書の授業や礼拝があり、絵画や映画を鑑賞する際の教養となるなど役に立っています。海外で活躍することを目指している方はもちろん、そうでなくとも、将来、自分と異なる文化的背景を持った人々とのかわり合いは避けられませんので、「キリスト教」や「信仰」に触れておくことにはとても意義があると思います。

先生方は生徒にとっても丁寧に接してくれて、一人一人を気にかけている印象でした。印象深いのは、柔道の授業で自分の不注意のため怪我をした時、病院での処置が終わったのは夜でしたが、その間、柔道の先生が付き添ってくれていたことです。

受験生の中には「中等部からの内部生の輪の中に入れるか」と不安に思っている方もいるかもしれません。私もそういった不安はありましたが、入学後わりとすぐに内部も外部も関係なくなり、気にならなりました。部活の友人は内部生も多かったのですが、戦友のような存在で、今でも交流があります。

現在、私は弁護士業務として、学校法人青山学院の総務部法務課で学校法務を担当させていただいておりますが、入学当初から弁護士を目指していたわけではありません。高校と大学の「7年」というスパンで、やりたいことを見つけることができました。だからこそ、私は今この仕事をしています。自由な選択ができること、能力を発揮しやすい環境であることもこの学校の魅力だと思います。

今に繋がるかけがえのない3年間



**プロフィール**  
2002年卒。青山学院大学文学部教育学科卒業。Institute of Education, University of London. MA in Comparative Education 修了。PhD in Comparative Education (candidate), UCL Institute of Education, University College London を経て、2016年より青山学院大学地球社会共生学部助教。専門は比較教育学。

青山学院大学地球社会共生学部 助教

## 橋本 彩花さん

小学生時代、私は一時期アメリカに滞在していましたが、帰国後は帰国子女として珍しがられ、肩身の狭い思いをしたこともありました。しかし中等部から入った青山学院には、誰かを除外するようなところが全くなく、生徒それぞれの個性が尊重される環境が整っていました。当時から、青山学院には多様性を土壌として一人ひとりを受け入れる先駆的なポリシーがあったのです。そこで学校生活を共にした友人は、年月を重ねた今も、私の人生のかけがえのない宝物です。

高等部の先生方は皆、それぞれの専門や教育に対する熱意を持っていました。また、生徒一人ひとりをよく見ていて、進路で悩んでいた私に、担任の先生は「人と一緒に何かするのが好きな橋本さんは教育に向いているのでは」とアドバイスもいただきました。

2年生の時には、生徒会の集会委員長を務めました。生徒集会を企画・運営する組織だったのですが、中でも印象深いのはミュージックフェスティバル。生徒たちが演奏や歌唱を披露する賑やかなイベントです。ここで私は、出演団体の選考や、委員や出演者のとりまとめなど、組織を動かすという貴重な経験をしました。この経験から私は、一つのプロジェクトには多くの人々が携わっていること、そして、その一つ一つの存在が不可欠であることを知りました。

私は大学時代、外国にルーツを持つ子どもたちに日本語を教えたり、イギリス留学中には多様な文化背景を持つ子どもたちのための教育システムについて研究したりしました。現在は大学教員として、専門の科目を担当するとともに、海外留学のサポートをする立場にあります。そこで思うのは、「世界規模の視点を持つ」ために大切なものは、言語能力だけではなく、自分自身と異なる人々とのコミュニケーションであるということ。高校時代に友人や先生に受け入れてもらった経験や、多くの人とプロジェクトを作り上げた経験が、今の私に大きな影響を与えています。高校生活の3年間を謳歌させてくれた青山学院高等部には本当に感謝しています。

2018年度入学試験より インターネット出願を導入しました。  
 詳しくは本校ウェブサイトをご覧ください。

## 2021年度入学試験について

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により変更の可能性があります。

	推薦入試	帰国生入試	一般入試
募集人員	男女合わせて約70名	男女合わせて約30名	男女合わせて約80名
出願資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本校を第一志望とし、合格の際は入学を確約できる者。</li> <li>2 2005（平成17）年4月2日より2006（平成18）年4月1日までに出生し、2021年3月に国内の中学校を卒業見込みの者。</li> <li>3 3年2学期の9教科の合計評定（5段階評定）が次の条件を満たしていること。 男子38以上、女子41以上、「2」以下の評定がないこと。</li> </ol> <p>※3年の2学期の評定とは、12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 3年次の欠席日数が5日以内であり、3年間の欠席日数の合計が15日以内であること。</li> <li>5 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</li> </ol> <p>※上記の出願資格条件は、推薦入試合格を確約するものではありません。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 海外在住期間が引き続き1年以上にわたり、現地校、インターナショナル校、または全日制日本人学校に在籍していた者で、帰国後2年10カ月以内（2021年度入試の場合、2018年6月以降の帰国）であること。</li> </ol> <p>※なお、本校への入学予定日（4月1日）を資格算定の基準とします。</p> <p>※本人が単独で海外留学した場合は該当しません。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 2004（平成16）年4月2日より2006（平成18）年4月1日までに出生の者で、次の[A]、[B]のいずれかに該当する者。</li> </ol> <p>[A] 2021年3月に中学校を卒業見込みの者または2020年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>[B] 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2004（平成16）年4月2日より2006（平成18）年4月1日までに出生の者で、次の[A]、[B]のいずれかに該当する者。</li> </ol> <p>[A] 2021年3月に中学校を卒業見込みの者または2020年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>[B] 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 保護者のもとから通学可能な者（本人のみの下宿、アパート、会社等の子弟寮からの通学は認めておりません）。保護者は父もしくは母が原則ですが、やむを得ない理由で不可能な場合は、東京またはその近辺に一家計を立て（就学中の兄・姉等は不可）、学校との連絡が容易にとれ、直ちに来校できる、親権者と同等の責任を持つ在京保証人が必要であり、入学後はその家庭から通学していただくことを条件といたします。</li> </ol>
選抜方法	適性検査・面接・書類審査	適性検査・面接・書類審査	国語・数学・英語（リスニングも含む）・書類審査
インターネット出願入力期間	12月20日(日) 0:00～1月18日(月) 14:00 インターネットのみ	12月20日(日) 0:00～1月12日(火) 14:00 インターネットのみ	12月20日(日) 0:00～1月27日(水) 11:00 インターネットのみ
出願書類受付期間	【郵送】1月15日(金)～1月16日(土) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月18日(月) 9:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月8日(金)～1月9日(土) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月12日(火) 9:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月25日(月)～1月26日(火) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月27日(水) 9:00～12:00 (時間厳守)
入学試験日	1月30日(土)	1月30日(土)	2月12日(金)
合格発表・ 手続書類交付日	2月1日(月) 13:10～13:50 〈インターネット合格発表〉8:00 予定	2月1日(月) 13:20～14:00 〈インターネット合格発表〉8:00 予定	2月14日(日) 14:00～15:00 〈インターネット合格発表〉8:00 予定 補欠者書類は郵送
入学手続日	2月2日(火) 13:30～14:30	入学手続Ⅰ 2月2日(火) 15:00～16:00 入学手続Ⅱ 2月20日(土) 13:00～14:50	入学手続Ⅰ 2月15日(月) 10:00～11:00 入学手続Ⅱ 2月20日(土) 13:30～14:50

## 入試結果

	推薦入試						帰国生入試						一般入試								
	募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	募集人員		志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率			
2020年	男女 合わせて 約70名	男子		79	77	36	2.1	男女 合わせて 約30名	男子		95	76	36	2.1	男女 合わせて 約80名	男子		459	398	100	4.0
		女子		145	143	42	3.4		女子		127	95	52	1.8		女子		561	469	111	4.2
		計		224	220	78	2.8		計		222	171	88	1.9		計		1020	867	211	4.1
2019年	男女 合わせて 約70名	男子		84	82	34	2.4	男女 合わせて 約30名	男子		103	89	37	2.4	男女 合わせて 約80名	男子		411	340	103	3.3
		女子		147	146	40	3.7		女子		126	103	50	2.1		女子		498	418	111	3.8
		計		231	228	74	3.1		計		229	192	87	2.2		計		909	758	214	3.5
2018年	男女 合わせて 約70名	男子		72	68	34	2.0	男女 合わせて 約30名	男子		112	89	36	2.5	男女 合わせて 約80名	男子		422	352	90	3.9
		女子		126	121	40	3.0		女子		124	103	47	2.2		女子		552	469	110	4.3
		計		198	189	74	2.6		計		236	192	83	2.3		計		974	821	200	4.1

## 学費一覧

※下記学費等は事情により改定されることもありますので、あらかじめご承知おきください。

※納付方法は学期ごとの分納となります。

(2020年4月入学生)

	1年	2年	3年
入学金	320,000		
施設設備料	220,000	220,000	220,000
授業料	600,000	600,000	600,000
実習料	5,000	5,000	5,000
保健料(消費税込)	6,000	6,000	6,000
冷暖房料	12,000	12,000	12,000
後援会会費	22,000	22,000	22,000
生徒会入会金	5,000		
生徒会会費	12,000	12,000	12,000
修学旅行積立金	80,000	65,000	
卒業積立金			55,000
合計	1,282,000	942,000	932,000

入学初年度の費用としては、次のようなものがあります。

※一般入試・帰国生入試の入学手続に際し、施設設備料に限り、納付を延期することができます。

(2020年4月入学生)

入学前 (入学手続き時)	入学金	320,000
	施設設備料	220,000
	合計	540,000
入学後 (各学期ごと 3回の分納)	授業料	600,000
	実習料・保健料・冷暖房料	23,000
	後援会会費	22,000
	生徒会入会金・会費	17,000
	修学旅行積立金	80,000
合計	742,000	
その他の 購入費用	制服	40,000～60,000
	教科書	32,000～41,000
	体育着・シューズ等	38,000～46,000

## 奨学金制度

人物・学力ともに優れていながら経済的な補助を必要とする生徒に、東京都および各県の高校奨学金、独立行政法人日本学生支援機構大学予約奨学金等の奨学金制度があります。

本校としても次のような独自の奨学金制度を設けています。

給付奨学金	
青山学院高等部 奨学金 (授業料減免補助)	高等部の退職教職員・同窓会などからの寄付をもとにしたもので、次の2種類の内容に分かれています。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 給付奨学金 経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給します。</li> <li>2. 奨励賞 実用英語検定試験合格者、読書感想文・感想画コンクール受賞者、クラブ活動等（各分野）で都道府県大会等の上位入賞者、またボランティア等社会に貢献する活動又はその他これに準ずる活動で特に顕著な功績を残した生徒または生徒による団体に贈られます。</li> </ol>
青山学院 スカラーシップ奨学金	青山学院維持協力会および青山学院校友会から経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給するもので、内容的には上記の高等部奨学金の1.に準じます。
青山学院万代奨学金 高等部特別奨学生	本学院の学友であり、理事でもあった故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、学業成績、人物ともに優れた生徒若干名に顕彰のため奨学金を給付しています。
友情資金に基づく 奨学金	生徒会で月1回、生徒の自発的意志によって献金されたものを、生徒会員の中で経済的補助を必要とする生徒に給付しています。
貸与奨学金	
青山学院 万代奨学金	故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、東京都および各県の奨学金制度の資格基準に準じて貸与しています。
授業料軽減制度	本校の制度ではありませんが、授業料軽減制度には次のようなものがあります。
高等学校等 就学支援金	国の法律に基づく全国一律の制度です。家庭の教育費負担を軽減するために、住民税額が一定額未満の世帯に支給されます。
東京都 私立高等学校等 授業料軽減助成事業	保護者と生徒がともに東京都内に居住しており、東京都内の私立高等学校等に通学している生徒の保護者に、その経済的負担を軽減することを目的として、授業料の一部を軽減する制度です。

## 推薦入試

**Q** 適性検査の内容を教えてください。

**A** 本校における学習に必要な基礎学力を確かめるためのもので、国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3つの科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）各教科の問題を20分程度の目安で解くように考えると良いでしょう。特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

**Q** 面接はどのような形式で行われるのですか。

**A** 昨年度は10分程度の個人面接でした。

**Q** 一般入試にも出願できるのでしょうか。その場合、優遇措置はありますか。

**A** 一般入試の出願もできます。一般入試において補欠となった場合は優遇する場合があります。また、先に行う推薦入試に合格し、入学金および施設設備料を納付した場合、推薦入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

**Q** 自己推薦書について教えてください。書けるのは、学校内の活動に関してだけですか。

**A** 基本的には中学校における生活がどのように充実したものであったかを見せられますが、校外のものを書いても差しつかえありません。地域のボランティア活動やスポーツ活動など、中学時代に打ち込んだものについて書いてください。

**Q** 英検や校外の活動での優秀な成績については考慮されますか。

**A** 考慮する場合があります。英検などについては調査書の「特記事項」に、またスポーツその他の活動に関しては「特別活動の記録」あるいは「特記事項」の欄に書いてください。

**Q** 3年2学期の評定とは、2学期だけの成績をさすのですか。

**A** 1学期からの成績を総合した12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。2学期制の学校においても、12月時点で中学校が教育委員会などへ提出する評定です。

**Q** 9教科の評定の合計が男子38（女子41）も45と同じに扱うのですか。

**A** 評定の合計の高いほうが多少有利になる場合もあります。

## 帰国生入試

**Q** 適性検査の内容を教えてください。

**A** 国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）国語と数学に関しては、本校における学習に必要な適性と中学校課程修了程度の基礎学力を確かめるためのもので、英語のみ、少々難易度の高いものとなっています。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

**Q** 面接はどのような形式で行われるのですか。英語での質問はありますか。

**A** 20分程度のグループ面接です。志願者数名を一つのグループにして行われます。面接時の質問は基本的には日本語で行われますが、英語圏の現地校やインターナショナル校出身者には英語による質問があります。ただし、英語力を問うことが目的の面接ではありません。

**Q** 英検の資格は、点数に加算されますか。

**A** 加算しません。

**Q** 出願書類にはどのようなものがありますか。

**A** 入学願書等以外に、帰国生入試の出願には次の書類が必要です。  
 (1) 国内の中学校または日本人学校を卒業・卒業見込の者は、中学校が作成する調査書  
 (2) 海外の現地校・インターナショナル校等に在籍した者は、中学校相当期間にかかる全ての成績証明書（学校長の公印または署名のあるもの）  
 (3) 離日前に国内の中学校に在籍した者はその中学校の成績証明書  
 (4) 帰国生調査票（受験生本人が記入）  
 (5) 海外在留証明書（在留期間、在留地名を記載。所属機関代表者の公印が必要）

※ (1)・(4)・(5) は本校ウェブサイトより指定用紙をダウンロード

**Q** 現地で行ったボランティアや行事の表彰状のコピーは添付した方がよいのですか。

**A** 基本的に現地での活躍に関しては、面接時にお話をお聞きます。

**Q** 現地校の場合、成績証明書は何学年のものが必要なのでしょうか。

**A** 日本の中学校相当の年齢の時期にかかるもの（満12歳の4月以降のもの）すべてを提出してください。

**Q** 成績証明書はコピーでもよいのでしょうか。

**A** コピーそのものは認めておりません。ただし、コピーに、原本と相違ないという出身校の証明があればか

まいません。証明書が厳封されていて中身が確認できない場合はそのままご提出ください。

**Q** 帰国の際、成績証明書のオリジナルをひとつしか発行してもらえず、コピーに証明をもらうことも難しいのですが、どうしたらよいでしょうか。

**A** その場合は、出願の前に、本校にその旨電話でご連絡ください。まずは、成績証明書のコピーを他の出願書類とともに提出していただき、後日、受験前にオリジナルを本校にお持ちいただき、ご提出いただいたコピーが原本と相違ないか、その場で照合させていただきます。

**Q** 日本人学校の場合は、現地での成績証明書は必要でしょうか。

**A** 現地の日本人学校から直接受験される場合、日本人学校で本校所定の調査書を発行してもらえますので、成績証明書は不要です。既に帰国して日本の中学校に通っている場合、日本人学校での成績を本校所定の調査書に転記してもらえれば成績証明書は必要ありません。転記してもらえるかどうかを中学校にご確認ください。

**Q** 一般入試にも出願できるのでしょうか。

**A** 出願できます。先に行う帰国生入試に合格し、入学金を納付した場合、帰国生入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

**Q** 中学時代に、アメリカの親戚の家に滞在し近所の公立のミドルスクールに1年間通っていました。帰国生入試を受けられますか。

**A** 本校の帰国生入試の出願資格に、ご家族のお仕事の都合で海外に在住していた者、という条件があります。留学に相当するケースでは、帰国生入試を受験することができません。

**Q** 現在、海外の現地企業に採用され、勤務しています。息子の受験に際し、海外在留証明書の作成を依頼したところ、日本語のフォームには対応できない、とのことでした。

**A** 別紙に本校の海外在留証明書の各項目を英語で記載していただき、経営責任者のサインを頂いたうえで、他の出願書類と一緒に封筒に入れて送付してください。

## 一般入試

**Q** 入試科目・試験時間・配点を教えてください。

**A** 入試科目は国語・数学・英語の3教科です。試験時間は3教科それぞれ50分間、配点は各100点満点です。教科ごとに合格最低点が設けられています。

**Q** 問題の内容、出題の傾向などを教えてください。

**A** 数学をはじめ総じて問題量が多く、国語は中学校程度の古文を含み、英語は長い文章を読んで設問に答える形式の問題が多く出題されています。過去の問題に目を通し、実際に時間を計って解答し、問題の内容や傾向をよくつかんでおくよいと思います。

**Q** リスニングは含まれますか。その場合、時間と配点を教えてください。また、内容的には英検で何級くらいですか。

**A** リスニング試験を含みます。時間は約15分です。内容は放送原稿を高等部ウェブサイトでご確認ください。リスニングの配点については公表していません。また、難易度は英検との比較はできません。

**Q** 調査書の成績は点数に加味されるのですか。

**A** 加味しています。国語・数学・英語の3教科の入試の得点に加え、他の教科に関しても中学校における成績を加味することにより、本校の多様な授業に総合的に対応できる能力を有しているかどうかの判断をいたします。その割合等は非公表です。

**Q** 欠席が多い場合は不利になるのでしょうか。

**A** 欠席・遅刻・早退の日数が多い場合は個別に審議します。欠席・遅刻・早退の日数の扱いについて特別な事情がある場合は、その理由を別紙にて（校長公印が必要）提出することができます。

**Q** 面接はありますか。

**A** ありません。

**Q** 1浪の場合、受験資格はありますか。

**A** 1浪までは認めています。出生年月日の範囲について、本誌27ページを確認してください。

**Q** 補欠の繰り上げ合格者の人数は毎年何人ぐらいなのでしょう。

**A** 補欠は、年によって、男女によっても異なります。

## 学校説明会

日程・実施形態等を変更させていただく場合があります。  
ご来校前に本校ウェブサイトをご確認ください。

10月3日(土)

10月10日(土)

場所：高等部 PS 講堂

※インターネット予約が必要です

### 午前の部

9:30 開場  
10:00～ 全体会  
11:00～ 校舎見学・入試相談 (12:30 終了)

### 午後の部

13:00 開場  
13:30～ 全体会  
14:30～ 校舎見学・入試相談 (16:00 終了)

■ 一時帰国の方対象の学校説明会は開催日時未定です。決まり次第、本校ウェブサイトでお知らせします。



## 青山学院高等部

Aoyama Gakuin Senior High School

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

TEL 03-3409-3880 (高等部直通)

FAX 03-3409-5784 (高等部)

<http://www.agh.aoyama.ed.jp/>

